

人権まちづくり新聞

枚方人権まちづくり協会自主事業

ハンセン病ドキュメンタリー映画

「NAGASHIMA、がくり」の証言

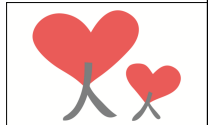
三月十四日に当協会自主事業として、「NAGASHIMA、がくり」の証言」の上映と宮崎賢監督のトークを開催しました。



宮崎賢監督

宮崎監督は、ハンセン病という人権侵害を映像に残さなければ、闇に葬られてしまうと思い、この映画を制作されました。また、「かくり」を敢えてひらがなにしたのは、十二歳で長島愛生園に隔離された方が

「隔離」という漢字を習う前にここに連れて来られたと話しておられたからです。この映画では、家族に迷惑をかけるからと証言を拒んでいた方々が、長い間、長島に通い続けた宮崎監督だから話しておきたい、若い人達に強制隔離の体験を伝えたいと語る姿を伝えています。差別や偏見は、目に見えないから怖いとそれぞれ語っておられます。また、苦難だけではなく、芸術に打ち込むなど自分の人生を一生懸命に生きる人の姿も伝えています。高校生がこの映画の上映会を企画したり、小学校で上映会をしたりと長島の人達や監督の思いが引き継がれています。小学生の「差



第29号
編集発行
枚方人権
まちづくり協会



田邊美香代表（右）

◆シリーズ◆ 人権な 街角

子どもたちに優しい場所づくり 藤阪子ども食堂隊

今回は、「藤阪子ども食堂隊」代表の田邊美香さんにお話を伺いました。始め

られた動機は九年前、「安心して話せる大人に見守られ過ごせる場所をすべての子ども達に」と、菅原生涯学習市民センター料理室を借りて三人で子ども食堂を立ち上げ、今は津田生涯学習市民センターでも活動されています。一回に約六十食、米は六、七キロ炊き、米・野菜などは農家の方か

らの寄付で賄い献立が決まるそうです。コロナ禍での持ち帰りが今も一部続いております、安全に過ごせる居場所・交流の場の提供に戸惑いを感じておられます。大人三百円、高・大学生百五十円、中学生以下は無料です。誰でも参加でき、津田子ども食堂は第二金曜、菅原子ども食堂は第三土曜、十八時三十分から営業。「三人集まれば子ども食堂は誰でもはじめられますよ」と笑顔で語られました。

2024年度相談事業

<p>〈人権まちづくり協会〉 サンプラザ1号館5F TEL 072-844-8788 [人権なんでも相談] 月・水・木・金 9:00 - 17:30 (第1水曜・第4木曜は 12:45~17:30) 火曜 12:45~20:00 [地域就労支援相談]※ 月~水・金 9:00 - 17:30 [進路選択支援相談]※ 火13:00 - 17:00 18:00 - 20:00</p>	<p>〈男女共生フロア・ウィル〉 サンプラザ3号館4F TEL 072-843-5636 ■女性のための相談 [電話相談] 第3火 15:00 - 20:00 水 13:00 - 17:00 木 10:00 - 15:00 専用電話072-843-7860 [面接相談]※ 水 13:00 - 16:10 第1木・第3火 16:00 - 19:30 第2・4・5木 13:40 - 16:50 金 10:00 - 13:50 [法律相談]※ 第1木 17:20 - 19:50 第1土・第2金 13:20 - 15:50 第4火 10:20 - 12:50 ■男性のための電話相談 第1土 14:00 - 17:00 第3火 18:00 - 20:00 専用電話 072-843-5730</p>
--	--

緑字は昨年度より変更されています。
※の相談は予約が必要です。それぞれの施設に電話で予約してください。

枚方市人権週間事業

ウクライナの歌姫

ナターシャ・グジーコンサート

水晶の歌声とバンドウーラの可憐な響き

十二月六日、人権週間事業として、枚方市総合文化芸術センター関西医大小ホールで「ナターシャ・グジーコンサート」を開催しました。

十二月六日、人権週間事業として、枚方市総合文化芸術センター関西医大小ホールで「ナターシャ・グジーコンサート」を開催しました。バンドウーラの美しい繊細な音色、透き通るような

歌声が始まり、満員の客席が一瞬にして引き込まれ静まり返りました。八歳の頃、ウクライナの民族楽器バンドウーラ（源はびわ法師のびわで弦が六十八本、八キロあるとのこと）の音色に魅せられ、音

入学校の専門課程に学ばれ、民族音楽団のメンバーとして二度の来日を経て、二〇〇〇年より日本で本格的な音楽活動を開始。大好きな日本との文化の懸け橋として、また、平和への願いを込め歌います。アンコールも活動中です。

の拍手が鳴りやまず全十一曲を熱唱し幕となりました。六歳の時、チェルノブイリ（チェルノービリ）原発で被爆、キエフ（キーウ）市に移住。生まれ故郷は死の町に、悲劇は終わっていない、忘れないで欲しいと語られました。現在、ウクライナ支援プロジェクトとして、チャリティーツアーやピースオンウイングス翼に平和をのせて交流プロジェクト等でも活動中です。



2023年度の事業報告

- 6月13日(火) 総会・理事会・会員研修会
ラポールひらかた 大研修室
- 8月9日(水) 夏休み人権映画会 (2回上映)
「かいけつゾロリ ラララ♪スターたんじょう」
総合文化芸術センター 関西医大小ホール
- 10月3日(火) 会員の現地研修会
高麗美術館 (京都市北区)
ウトロ平和祈念館 (宇治市伊勢田)
- 講座「生きること」 ラポールひらかた 大研修室
 - ・10月17日(火)「生き直し～人は強制力では変わらない。変わるとしたらそれは自分の中に息づく愛を知った時～」依存症回復施設職員・生活支援員・介護福祉士 渡邊 洋次郎さん
 - ・10月24日(火)「阪神・淡路大震災から得た教訓～支え合うこと～」語り部K O B E 1995 田村 勝太郎さん/崔 秀英さん/和氣 光代さん
 - ・10月28日(土)「ベトナム語の通訳を続けて25年～日本とベトナムの間で～」通訳翻訳業・ベトナム語司法通訳人 チャン・ティ・ヒエンさん
- 11月15日(水) 枚方市人権文化セミナー「落語で伝える戦争～創作落語『防空壕』に込めた願い～」桂 花團治さん ラポールひらかた 大研修室
- 11月22日(水) 枚方市人権教育研究協議会との共催事業「ネット人権侵害と部落差別の現実～『寝た子』はネットで起こされる！？～」(一社) 山口県人権啓発センター事務局長 川口 泰司さん 総合文化芸術センター別館 メセナホール
- 12月6日(水) 枚方市人権週間事業
「ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジーコンサート ～水晶の歌声とバンドウーラの可憐な響き～」総合文化芸術センター 関西医大小ホール
 - ・北朝鮮拉致問題パネル展
総合文化芸術センター マルチスペース 1
- 3月14日(木) 人権映画会「NAGASHIMA～“かくり”の証言～」上映と宮崎 賢監督のトーク
総合文化芸術センター別館 メセナホール

会員随時募集

枚方市を市民一人ひとりの人権が大切にされるまちへ (年会費1口 1000円から)

NPO法人枚方人権まちづくり協会

TEL:072-844-8788 FAX:072-844-8799